

学部の榎田ゼミ所属希望（検討中を含む）の皆様

= 概要 =

- (1) 榎田学部ゼミは、おおむね、50%テキストリーディング、残り50%を研究発表として、構成します。
- (2) 原則毎週です（一部イレギュラー日程あり）。遅刻欠席時には、事前連絡をよろしく。就職活動等で欠席の場合、翌週までの課題を出します。
- (3) 研究の基礎的能力は、他の授業で獲得していることを前提とします。自力のできる限り進み、それを発表することで、先に進むために必要なヒントを聴衆から得ましょう。
- (4) レジユメは、毎回3～5部お願いします。液晶画面への映し出しもできます。SVBL棟3階リフレッシュルーム、あるいは、コース学生スペース1内ゼミ1で行います。

= 運営方針 =

- (1) 通常の授業とは考えないで下さい。通常の授業だけでなく、人生経験まで全部含めたものをベースとした上での、研究指導の時空間とお考えください。
- (2) 最低限必要な技術指導はしますが、研究室として提供している他の資源・機会（研究会、発表会、調査機会等々）を最高度にご活用ください。
- (3) ゼミ名簿つくります。
- (4) ゼミ論集もつくります。
- (5) SVBL棟への入館カードもつくります（原則）。
- (6) 2012年度は、エスノメソドロジー・会話分析の基礎知識講義は、後期月曜日19:40～21:40の夜間主専攻の「相互行為分析と現代社会」で提供します。
- (7) 論文取り寄せについて以下のように決めました。
「榎田研究室所属ゼミ生は、直接自分のメールアドレスを連絡先として、中央図書館経由で論文取り寄せ発注をすることが、できる。年間10本まで。
ただし、10本分利用後、そのリストを提示して、再許可をうければ、さらに10本の論文取り寄せ発注をすることができる。経費は、地域社会の校費の榎田の教育、とする。なお、経費処理の都合から、この制度は、毎年度11月末日をもって終了する。
書籍の取り寄せについては私費での申し込みを原則とする」
- (8) 希望におうじて、受験指導（大学院進学指導）も行う。調査用機材の貸し出しも行う。
- (9) ゼミ論集の書式は、『卒論作成マニュアル』に従うものとする。
『卒論作成マニュアル』は、下記サイトにあります。4月の最初の授業よりまえに、あらかじめ、ダウンロードし、印字し、読んできて下さい。判らないところをチェックしてきて下さい。

[http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/social/kenkyu/gakusei/100525_soturon-manual19.](http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/social/kenkyu/gakusei/100525_soturon-manual19.pdf)

[pdf](#)

- (10) 水曜読書会への出席を強くおすすめします。

Yoshio KASHIDA (kashida.yoshio@nifty.ne.jp)

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部所属

総合科学部併任 榎田美雄

勤務先住所) 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

直通電話 = 第二研究室 =) 088-656-9512 (内線5070) 通常こちらにいます

P H S) 070-5681-4143

wwwサイト) <http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/social/>